

成果指標				
成果指標	当該年度の農業振興団体加入者数／前年度の農業振興団体加入者数(目標数値)×100			
指標設定の考え方	各農業振興団体加入者数の増加を測定することで、担い手や青年農業者等の意識醸成と目標達成度合を測る。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	100%以上	100%以上	0	0
実績	97.1%	105.6%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	各補助団体とも、地域等の連携強化に資する一定の事業成果を上げており、団体運営の確保・育成には引続き有用な施策と認められるが、今後、高齢化の進行等に伴い参加者数の確保が一層求められ、新規就農者への勧誘等加入者数の増加に資する取組に努める必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	各団体ともに、一定の成果を上げており今後においても必要は組織であると考えられる。今後の地域の農業を支えていく上で不可欠な団体であるために、担い手育成及び確保のために積極的な支援を行いたい。特に、国の農業政策(補助事業等)は、認定農業者に対するものが主たる事業となっているために、今後一層の認定農業者の支援が必要となってくる。本農業振興センターでのスクラムを組んでの掘り起こしと育成が急務となっている。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	